



- ・第3回通常総会...1
- ・新会員紹介...3
- ・バリュー...3
- ・会務活動報告...3
- ・メディア...3
- ・編集後記...3

ミッション・ビジョンの確立と活発なアクションを

- 第3回通常総会開催 -

平成19年4月20日(金)千代田区丸の内コンファレンススクエア エムプラスにて、第3回通常総会を開催し、収支決算、事業計画案等が全会一致で承認された。会議冒頭、石橋理事長から過去2年間の活動が活性に乏しく目標到達度合いが極めて低いこと、とりわけ現状では会勢拡大において不可欠な会員増強が遅々として進んでいないことを反省し、本年度は、この現状を巻き返す一年とするとの所信表明がなされた。

以降の審議において、18年度における未達成事業は、継続事業としてその達成に向け引き続き活動するものとし、会員増強、講習会開催、収益事業拡大、新規事業等の重要事案の遂行がおしなべて低調であったことに鑑み、明確な会務目標と分担を明示するものとし、組織構成の変更及び役員選任が行われた。

委員会、部会区分及びその担務

拡大委員会

会員増強部会

会員増強活動に関する一切の業務 会員に対して、会員増強の意義周知と具体的活動の提示 その他

会員登録部会

会員登録に関する一切の業務 新規入会者の一次審査 推薦理事選定、入会書類の交付 会計委員会及び事務局への入会者報告

財務委員会

会計部会

金銭出納、帳票処理等の会計に関する一切の業務 賦課金、入会金、年会費請求、徴収 委員会活動及び事務局運営に支出する資金の出納及び管理 会報広告費用の請求、徴収 その他

助成金研究部会

賦課金、入会金、年会費を除く収入に関する調査・研究の一切の業務 NPO 法人を対象とする助成金及び新技術開発を対象とする助成金についての調査 賛助金等寄付募集についての具体的提案

技術委員会

技術開発部会

既存調査法の改善及び調査機器の改良 施工条件明示に有効な新規調査技術の具体的提案 埋設物損

傷事故防止、対処に有効な新規調査技術の具体的提案 掘進停止の防止に有効な支障物、地質調査の具体的な提案

複合技術部会

既存調査法と他企業の保有する調査技術のコラボレーションを果たす具体的な提案と連携までの活動

工法提案部会

関与した調査案件において、必要に応じて調査結果に基く適切な工法提案等の考察と調査報告書への記載への具体的提案

広報委員会

会報部会

会報発行に関する一切の業務 紙面による会報発刊(年2回) 会員メールアドレスに送信する会報発刊(年2回) 広告掲載に関する情報の財務委員会への報告

ホームページ部会

ホームページ保守・運営に関する一切の業務 調査事例集リニューアル 新規技術の開示、紹介 委員会・部会活動の開示、紹介 その他

調査法普及部会

調査法普及・拡大に関する広報活動の一切の業務 調査法普及・拡大に関する広報活動の具体的な提案と実施 会員研修活動の具体的な提案と実施 その他

新規事業委員会

新規事業化部会

技術委員会活動成果を享けて、収益事業とする一切の業務 道路掘削管理センターの事業展開 掘進機前方探査法の事業展開

史資料委員会

実績統計部会 照会事案記録 実施事案記録

図書刊行部会

標準設計積算資料の改訂 ライフライン築造に携わる技術者を購読対象とする埋設物調査・管理、地質調査法及び環境調査等を所収する図書刊行 新規事業普及のための資料(標準設計積算資料、プレゼンテーション用資料)作成

事務局

事務局運営に関する一切の業務 法人設立、運営、会員に関する資料保管 認証、登記及び諸官庁手続き 会務活動記録の一元管理 総会、理事会開催とその連絡 その他

新 役 員

再任、新任役員に加え、新たに専務理事を設け理事会にて荒木会員を選任した。

石橋 信利(再)	理 事 長	
長谷川 清廣(再)	副理事長	拡大委員会担当
渡 辺 完(再)	副理事長	広報委員会担当
荒 木 紘 一(再)	専務理事	史資料委員会担当
遠 藤 雅 孝(再)	理 事	財務委員会担当
勝 俣 健 二(再)	理 事	新規事業委員会担当
亀 岡 隆(再)	理 事	事務局担当
山 田 孝 之(再)	理 事	技術委員会担当
吉 田 安 廣(新)	理 事	助成金研究部会担当

- 2年間の総括と今後の抱負 -

理事長 石橋信利

平成 17 年 4 月 5 日に特定非利活動法人として認証を受け誕生した「マイクロサンプリング調査会」は、早くも 2 周年を迎えました。当調査会の設立に際し、ご賛同・ご協力を賜った会員各位に深甚の謝意を表します。有り難うございました。

当調査会は、学識者の知識と企業者の経験等を結集し、住民生活を支えるナショナルミニマムの施設で必要不可欠な公共的なライフラインに広く関わって、今後、更にその必要性が尚一層増すだろう既設ライフラインの更正・更新あるいは耐震構造等の諸問題に対応すべく、事前調査や処置方法に関する技術を研究開発し、その技術の普及促進を図るための組織として設立いたしました。広く衆知を結集すべく、組織の形態は「NPO法人」として業務活動に取り組むものとなりました。しかしながら建設業界の社会的環境の悪化も伴って、設立に際して目指した規模に未到達の弱体な組織にとどまっております。

地中に輻輳して埋設されているライフラインは、施設の役割、その必要性あるいは整備工事の効果等が地域住民からも十分に理解されていない一側面を有しています。本会は、ライフラインの築造ならびに保全の重要性を啓蒙する活動を事業の一つとして掲げています。

また、市街地公共工事、老朽化、地震等によるライフライン損傷事故は、住民等の財産・生命に甚大な被害

を及ぼすおそれがあります。当調査会はそれらに重きを置いて、ライフライン損傷事故防止のために徹底した事前調査を提案する決意です。

今後、当該事業発注者や企業管理者等に対して積極的に情報発信を行って、事前調査や予防保全の重要性の理解を得るべく、調査会一丸となって取り組む所存です。

将来にわたって、ライフラインの有する役割の多様性と重要性が増す中で、マイクロサンプリング調査会の業務のあり方も変革することが予想されます。それに伴って、新たな調査法や処置方法の技術開発がますます必要になると思いますので、設立趣旨に沿った業務をさらに進展させ、存在感と信頼あるNPO法人として発展できるよう努力してまいります。

また、当調査会の運営に当たって会員の方々には、それぞれの会社での大切な業務があるにも拘らず各委員会やワーキングに積極的な協力を頂いて、度重なる審議や資料作成に携わって活動頂いておりますことを心から感謝申し上げます。

どうかいっそうの会員各位のご支援をお願い申し上げますと共に、この2年を総りある期間とする決意です。



新会員の紹介

本年度総会以降、法人正会員3社の入会がありました。

(商号・本社所在地・代表者名・事業内容・Fax・URL・推薦理事)

株式会社 クマキ

新潟県新潟市小新 3820 番地 1
代表取締役 石橋 博明
ガス設備工事及び付帯工事
ガス消費器具の販売、修理
025(268)8501
Fax 025(268)8755
URL www.kumaki.co.jp

荒木 紘一

株式会社イセキ開発工機

東京都新宿区四谷 2 丁目 10-3
代表取締役 井上 禎二
シールド掘進機等販売
推進工事、パイプルーフ工事
管更新工事
03(5363)1610
Fax 03(5363)1618
URL www.iseki-polytech.com

渡辺 完

平山建設工業株式会社

香川県坂出市常磐町 1 丁目 2-6
代表取締役社長 平山 正晴
一般土木工事
管渠推進工事
建築工事
0877(46)1888
Fax 0877(44)1189
URL www.hira-net.com

亀岡 隆

バリュー

<新分野進出認定獲得のお知らせ>

福田興業株式会社 渡辺 完

平成 19 年度青森県建設工事競争入札参加資格審査において、「その他の主観的新分野進出」として NPO 法人マイクロサンプリング調査会業務（コンサルティング業務、調査技術活動）を新分野進出として申請しました。企業を対象にする資格について、NPO 法人を適用することの是非が社内審議となりましたが、その結果、「新分野進出」が認定され、平成 19 年度より 3 ヶ年間、10 点加算されることになりました。

会員各位におかれましても、各自治体への申請業務をお勧めいたします。今回の青森県認定基準は、青森県建設業ポータルサイトに掲載されております。

「平成 19 年度青森県建設工事の等級格付ライン及び工事成績点の計算方法について」

会務活動報告

H19.6.7 会報部会 第2回編集会議

場所:多田建設(株)

渡辺理事、亀岡理事、大橋部会長

H19.7.26 会報部会 第3回編集会議

場所:事務局(株)

荒木専務理事、大橋部会長

H19.7.26 新規事業化部会

場所:東京ガス本社ラウンジ

勝又委員長、嶋田アドバイザー、中村委員、

平山委員、石橋理事長、長谷川副理事、

荒木専務理事、大橋部会長

MEDIA

【水道産業新聞 2007年5月1日掲載】

特定非営利法人マイクロサンプリング調査会（石橋利信理事長）は4月20日、東京・丸の内三菱ビルで平成19年通常総会を開き、19年度事業計画などを審議した。今年度事業では、調査技術の改善や新規調査技術の提案を行うほか、昨年度ビジネス特許を出願した道路掘削工事センターの立ち上げや切羽調査法（仮称）の事業家を目指す。また、組織体制を強化するため、拡大、財務、技術、工法、新規事業、史資料の6委員会に部会構成を改めた。更に事務理事職を設け、理事を務める荒木紘一・扶桑技研代表取締役が就任することに決定した。総会のなかで石橋理事長は「設立から2年が経つが目標の1割程度しか達成できていない。今後も地下に埋設されたライフライン損傷事故防止のための事前調査や予防保全の重要性を呼びかけていきたい」と厳しい口調で語った。

トピックス

平成19年度通常総会を開催

NPOマイクロサンプリング調査会



▲ 開会のあいさつをする石橋理事長

特定非営利活動法人（NPO法人）マイクロサンプリング調査会（理事長：石橋信利元当協会常務理事）は4月20日コンファレンススクエアエムプラス（東京・丸の内）で平成19年度通常総会を開催した。開会のあいさつに立った石橋理事長は「当会は、既設ライフラインの更生・更新あるいは耐震構造等の諸問

題に対応すべく、事前調査や処置方法に関する技術を研究開発し、その技術の普及促進を図るため2年前にNPO法人を組織した。しかし、建設業界の低迷などにより施工実績が伸びず設立当初の目標に達していない。今後、地下ライフラインの役割が多様化し重要性を増す中、当会の役割も変化しそれに伴い調査法の重要性も増していくであろう。設立趣旨に沿った業務をさらに進展させ、存在感と信頼あるNPO法人として発展できるよう努力したい」と語った。

（総会では平成18年度決算および事業報告と同19年度予算および事業計画が報告されそれぞれ承認された。

また、JST日本非開閉技術協会が運営する工法ナビ（http://www.kouhounavi.com）に当会の調査法が掲載されていることを紹介し利用方法などを説明した。

編集後記

重陽の故事にならない七夕刊行を目指しておりましたが、盛夏の今となってしまいました。本号では、3社の新会員紹介ができましたことが編集子にとっても嬉しい記事でした。次号は活発な会務活動報告満載となる予定です。ご期待ください。